

令和3年度 学校評価

1. 目的

- ①学校が行う活動の質的改善を図り、生徒へのよりよい教育を提供するために実施する。
- ②学校の活動について保護者や地域住民の理解と協力を得ながら、学校としての説明責任を果たす。

2. 現状と課題

- ①生徒：令和3年度は、9割の生徒が本校の雰囲気やクラスの雰囲気はよいと思っている。生徒が充実した学校生活が送れるように、教員も寄り添い、サポートしていきたい。
- ②保護者：9割以上の保護者が、本校の雰囲気はよいと答えている。クラス・学校行事・部活動などを通して充実した学校生活が送れていると感じてくれているようだ。弁当・パン販売、セブンイレブンの自動販売機を導入したが食堂再開を求める声も多い。
- ③教職員：急激に変化する社会の中で、その先を見据えた東高の在り方を議論し、教員同士の共通認識を徹底する必要がある。
- ④学校評議員、地域住民、近隣小中学校
：「総合的に考えて、東高は魅力的な学校である」という質問に「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人が9割を超えた。地域に根付いた東高を目指し、地域交流やボランティア活動を今後も積極的に行っていきたい。

3. まとめと今後の課題

アンケートの結果を踏まえた現状と課題の分析から、「阿蘇富士教育」を軸とし、学校行事・クラス・部活等を通して、生徒がより充実した学校生活を送れるよう、家庭や地域との連携を重視した指導に努めたい。